

オバマ大統領の 2010 年度予算:概要(その 2)

～運輸省～

NEDO ワシントン事務所

松山貴代子

2009 年 6 月 24 日

V. 運輸省

2010 年度の運輸省全体予算は 732 億 4,800 万ドルで、2009 年度よりは 18 億 5,100 万ドル (2.6%) の増額となるものの、2008 年度予算(792 億 2,700 万ドル)との比較では 59 億 7,900 万ドルの減額要求となる。5 つの重要戦略目標、および、これ等戦略目標の推進支援を目的として 2010 年度予算で追加された組織エクセレンス(Organizational Excellence)を含めた 6 つの目標別予算配分は下記の通り:

- (1) 安全性の向上への 2010 年度予算は 185 億 4,300 万ドル(全体の 25.3%)
- (2) 渋滞軽減への配分は 426 億 1,500 万ドル(58.2%)
- (3) 世界的交通網連絡の改善は 14 億 3,800 万ドル(2.0%)
- (4) 環境保護に 74 億 1,300 万ドル(10.1%)
- (5) 国家安全保障の支援に 9 億 7,100 万ドル(1.3%)
- (6) 組織エクセレンスに 22 億 6,500 万ドル(3.1%)

運輸省の主要部局別予算は下記の通り:

(単位:百万ドル)

	FY2009 予算	ARRA	FY2010 要求	FY10 対 FY09 予算
連邦航空局(FAA)	15,470	1,300	15,956	486 (3.1%)増
連邦高速道路局(FHWA)	41,616	27,500	41,846	230 (0.6%)増
連邦交通局(FTA)	10,229	8,400	10,336	107 (1.0%)増
米国高速道路安全局(NHTSA)	856	—	867	11 (1.3%)増
連邦鉄道局(FRA)	1,798	9,300	2,705	907 (50.4%)増
研究・革新技术局(RITA)	13	—	13	±0
連邦自動車運輸安全局(FMCSA)	541	—	550	9 (1.7%)増
その他	873	1,620	975	102 (11.7%)増
合計	71,397	48,120	73,248	1,851 (2.6%)増

(四捨五入につき合計は必ずしも一致しない)

運輸省の主要部局別予算のハイライト:

1. 連邦航空局(Federal Aviation Administration =FAA)の予算は、2009 年度比 3.1%増の 159 億 5,600 万ドル

- ・ 研究・工学・開発(Research, Engineering and Development =RE&D)予算は 900 万ドル (5.3%)増の 1 億 8,000 万ドル。主は内訳は、(i)航空安全向上に 9,110 万ドル;(ii)全米航空システム(NAS)に属す 35 ヶ所の飛行場における定刻到着率の向上を目的とする効率改善(Improve Efficiency)は前年度とほぼ同レベルの 4,850 万ドル;(iii)航空騒音暴露の軽

- 減を目指す環境影響軽減(Reduce Environmental Impacts)の 2010 年度予算は 10.5%増額で 3,500 万ドル。
- ・ **空港改善プログラム**(Airport Improvement Program) Grant 予算は 2009 年度並の 33 億 8,400 万ドル。
 - ・ **次世代航空輸送システム**(Next Generation Air Transportation System =NextGen) イニシアティブの 2010 年度予算は前年度比 24.4%増の 8 億 6,500 万ドル。内、6,500 万ドル(15%増)は、操縦室に実時間の気象情報を伝えるシステムの開発・導入や航空技術・燃料・メトリクスの研究へ計上される。
2. **連邦高速道路局**(Federal Highway Administration =FHWA) 予算は 2009 年度比 0.6%(2 億 3,000 万ドル)増の 418 億 4,600 万ドル。FHWA 管轄プログラムの大半は、「2005 年陸上交通法(SAFETEA-LU 法)」の定める陸上輸送計画に盛り込まれている。オバマ政権では現在、間近に迫った SAFETEA-LU 法の満期終了(2009 年 9 月 30 日)を見据えて、陸上交通法案の再認可に向けた包括的アプローチを策定中であるほか、連邦政府輸送政策改善努力の一環として、連邦政府陸上輸送計画の合併・拡張・廃止といった大規模改正も検討しているところである。このため、2010 年度 FHWA 予算案にはプログラム別の要求額が明確に示されていない。従ってここでは 2009 年 3 月 11 日に成立した「2009 年度包括歳出予算法」の定める FHWA の 2009 年度予算を参考までに記載することとする。
- ・ **陸上輸送研究開発・普及計画**(Surface Transportation Research, Development, and Deployment Program)の 2009 年度予算は 1 億 8,380 万ドル。
 - ・ 全米高速道路研究所、技術支援プログラムや交通教育振興パイロットといった**トレーニング・教育**(Training and Education)プログラムの 2009 年度予算は 2,500 万ドル。
 - ・ **インテリジェント交通システム**(ITS)の 2009 年度予算は 1 億 300 万ドル。
 - ・ **大学輸送研究**(University Transportation Research)プログラムの 2009 年度予算は 7,390 万ドル。
3. **連邦交通局**(Federal Transit Administration)の 2010 年度予算は、1 億 700 万ドル増額で 103 億 3,600 万ドル。
- ・ 現行輸送システムの一新・修復を行う**市街地域プログラム**(Urbanized Area Programs) Grant に 62 億ドル。
 - ・ クリーン燃料バス・施設の購入やリースを支援する**クリーン燃料 Grant**(Clean Fuels Grant)プログラムは 2009 年度レベルの半額で、3,600 万ドルの要求。
 - ・ **国立公園や公有地における輸送代替手段**(Alternative Transportation in Parks and Public Lands)の予算も削減要求で、2010 年度は 2,500 万ドル(1,300 万ドル減)。
 - ・ 輸送問題を研究する**リサーチ及び大学研究センター**(Research and University Research Centers)の予算は 1%増額されて 6,770 万ドル。内訳は、(i)全米研究技術プログラムに 4,630 万ドル；(ii)輸送共同研究プログラムに 1,010 万ドル；(iii)大学輸送センタープログラムに 710 万ドル；(iv)全米交通研究所(National Transit Institute)に 430 万ドル。
4. **米国高速道路安全局**(National Highway Traffic Safety Administration)の予算は 2009 年度比 1.3%増の 8 億 6,700 万ドル。
- ・ 連邦自動車安全基準の発布と実施に関する研究、生体力学や衝突回避技術等を研究する**自動車安全性研究**(Vehicle Safety Research)の予算は前年度比 2.2%増の 1 億 2,980 万ドル。
 - ・ **高速道路交通安全性 Grant**(Highway Traffic Safety Grants)に 6 億 2,600 万ドル。

- ・ 飲酒運転、オートバイの安全、シートベルトやチャイルドシートの着用といった行動問題に焦点をあてたプログラムを策定・評価する**高速道路安全性 R&D**(Highway Safety Research and Development)の予算は 180 万ドルの増額で 1 億 730 万ドル。
5. **連邦鉄道局**(Federal Railroad Administration)の 2010 年度予算はほぼ倍増で 27 億 500 万ドル。
- ・ 6 年連続で利用者増加をみた都市間旅客列車サービスの **Amtrak**^{注1}の予算は 1,200 万ドル増額の 15 億 200 万ドル。
 - ・ 米国の鉄道インフラストラクチャー改善のため、「2009 年アメリカの経済回復・再投資法 (ARRA)」により新設されて 80 億ドルの予算計上を受けた**高速鉄道**(High-Speed Rail)プログラムに対する 2010 年度要求額は 10 億ドル。
6. **研究・革新技术局**(Research and Innovative Technology Administration =RITA)の予算は 2009 年度と同額の 1,300 万ドル。
- ・ 運輸省の研究・開発・技術(RD&T)計画や活動を調整・促進・精査する **RD&T 調整**(RD&T Coordination)プログラムに、2009 年度比 20.3%増の 700 万ドルを要求。
 - ・ 水素燃料安全性 R&D の予算は、2009 年度予算の約半額にあたる 85 万ドル。
 - ・ GPS の誤差補正・精度向上を目的とする **NDGPS**(Nationwide Differential Global Positioning System)の 2010 年度予算は 40 万ドル削減の 490 万ドル。
 - ・ **測位・航法・時刻**(Positioning, Navigation and Timing)プログラムは 2008 年度と同額で 40 万ドル^{注2}。
 - ・ RITA は自局予算とは別に、連邦高速道路局(FHWA)の高速道路信託基金から予算計上を受けて、幾つかのプログラムを管理している。前述の通り、FHWA のプログラムは今年 9 月で満期終了する SAFETEA-LU 法で認可されているため、2010 年度に予算を受けるためには法案の再認可が必要である。このため、ここでは RITA が管理する高速道路信託基金プログラムの 2009 年度予算を参考までに記載する。
 - 運輸政策決定に役立つ高質のデータや情報を集め、一貫的な統計を策定・提供する**交通統計局**(Bureau of Transportation Statistics =BTS)の 2009 年度予算は 2,700 万ドル。
 - **インテリジェント交通システム**(ITS)の 2009 年度予算は 1 億 300 万ドル。

注1 エネルギー省(DOE)傘下のオークリッジ国立研究所によると、乗客 1 人 1 マイルあたりのエネルギー消費量をみると、Amtrak は飛行機よりも 17%少なく、自動車よりは 21.4%少ないという。

注2 2009 年度には、同プログラムに対する予算計上がなかった。